

アンケート結果を受けて改善したいところ 【創造科学系】

受講学生に指導現場のイメージを湧かせ、指導における問題意識を持たせることができず、退屈な授業になっているところがある。毎時間、十分に予習させ、予習課題に対応した授業を展開するようする必要がある。

自習課題の観点を明確にして、発表担当者以外の者にも十分に課題意識を持たせる。

教材教具が分かりやすいかについては、配付資料を改善し、教育実習や現職になっても使える資料として、具体的な教材例を精選していきたい。

「問15」について課題を各自に出すべきか。

疑問はもつが、主体性を盛らせてあげれていないので、より関心が湧くようなかわりを工夫したい

授業内ではみなさん意欲的に取り組んでくださっていましたが、他の場面で音楽教育について考えたり、音楽活動を行ったり、自分なりに課題を見つけ取り組んだり調べたりする時間が少なかったようなので、今後は自分でさらに体験したり、探究や理解を深めてもらえるようなアドバイスや工夫を取り入れた授業を展開したいと思います。

受講生の反応を見ながら、丁寧な説明に努めたいと思います。

・授業のための学習時間にばらつきがあるので、呼びかけを徹底したい。

特に考え付かない

授業を通じて学生には新しい考え方を広げて欲しいので、より「斬新な」内容にする。

『この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた』について「強くそう思う」と「ややそう思う」合わせて100%の回答が得られたこと、『授業の難易度』について「ちょうどよい」約90%・「難しい」約10%の回答が得られたこと、『授業で習得したことがらについて、自らの表現で伝えることができる』について「強くそう思う」と「ややそう思う」合わせて約80%の回答が得られたことから、教員の意図と学生の学びが概ね噛み合ったと理解している。今後は、現在の授業の方向性を洗練させて、より学生の学習意欲を喚起できるように工夫を重ねたい。

資料やスライドの説明等をコピーし配布する。また、個別に質問ができるような仕組みを考えてみる。

教材・教具(板書、プロジェクター、配布資料)をより分かりやすいものへ改善していきたいと考えています。また、質疑や討論のコメント等、学生とのコミュニケーションの改善等に努めたいと思います。

学習時間がなしという学生が多いが、これは学習の捉え方に問題があると考えます。例えば部活動に所属している学生は、その活動に本授業の内容が含まれている場合が多い。次年度はこの点も考慮して、学生の学びに対する支援を行いたい。

初心者の中に選択した曲が難しいという意見があったので、今後はその点について改善を検討したい。

板書は黒板全体を使ってほしいという希望があったので、板書の書き方について改善したいと思う。また、試験レポートの文字数について、多いという意見があったが、今後は意見を考慮して文字数などは決めていきたい。

アンケートの問1～7がアクティブ・ラーニングに関する質問であり、問8～11は教員と受講者の意思の疎通、コミュニケーション、授業資料等に関わる質問であり、問12は継続して学ぶ意欲を問う調査であると捉えている。①「強くそう思う」と②「ややそう思う」を合わせると、問3「授業を受けた上で、自ら関連項目について情報を集め検討し、自分なりの思考を展開した。さらに、その思考に基づき行動した」と、問7「この授業の目標が達成できた」を除き、ほぼ全員がこのアクティブ・ラーニング形式の授業に満足していることになる。※それでも問3、7ではそれぞれ86.6%が満足している。教員との意思の疎通に関する問8～11では、93.3～100%の受講者が満足していた。これらのことから概ね成功していたと考えられるが、より良い授業作りに向けてさらに努力していく所存である。

意欲的に学修に取り組んでくださいました。学生さんにとって初めて学ぶことも多いです。教師の説明がわからなかったら、その場で質問して下さるように、講義の最初にお話ししておくようにします。

授業はわかりやすさが非常に重要で、板書の見やすさ、説明のわかりやすさに工夫した。重要な事項は繰り返し説明した。教員からの講義だけでなく、受講者と教員のやりとりも交えながら授業を進めた。アンケートでは、授業がわかりやすいと考えている学生が多く、さらに改善できるように努めたい。

今回は休講をした分を補講日時が学生と合わず、また大学からの個人的な指示でできなかったこともあり、回数が15回に満たなかった。ただし、その分をレポートで課題を出し、それも評価に含めた。今後は授業回数を必ず行う。また、授業の内容が難しいという意見が多かった。将来の現場での指導を考えれば決して難易度の高い内容ではないと考えるが、1年生の後期と考えると、まだ専門の勉強が浅いためそう感じる学生が多かったと思われる。今後はこの点を考えて改善しようと考えます。